B+COM 6X ヘルメット取付資料

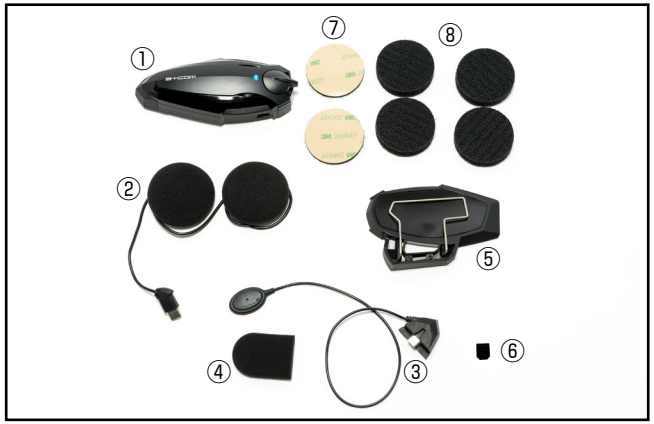
SHOEI X-Fourteen

(クイックマニュアルと併せてご覧ください)

SYGN HOUSE

SHOEI X-Fourteen

①準備



用意するもの

No	名称	数量
①	B+COM SB6X 本体ユニット	1
②	スピーカー	1
③	ワイヤーマイク	1
④	ワイヤーマイク用スポンジ	1
⑤	ベースプレート	1
⑤	ワイヤークリップ（クリップで使用する場合）	1
⑤	保護ラバー（クリップで使用する場合）	1
⑤	面ファスナー（貼付で使用する場合）	1
⑥	スピーカーハーネス固定用クリップ	1
⑦	スピーカー固定用面ファスナー	2
⑧	スピーカー固定用調整パッド	4

スピーカー裏面へベルクロフック (硬い方) を貼り付ける。

ベースプレートを取り付けます。
※ワイヤークリップタイプの場合
※ベースプレートの組立て方法はキット付属の
『クイックマニュアル』にてご確認下さい。

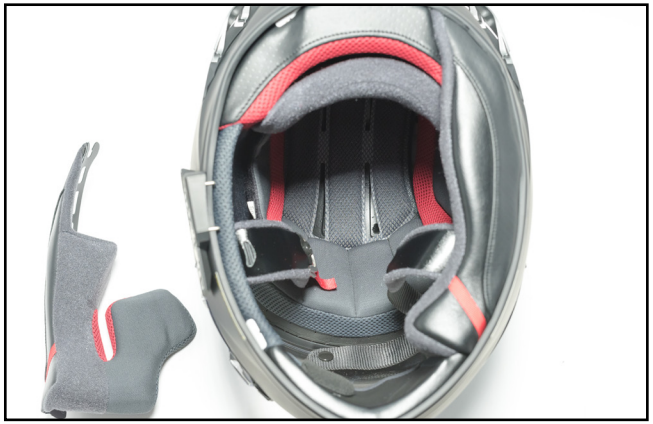
面ファスナータイプを使用して取り付けを行う場合は上図のようにキット付属の『面ファスナー』をヘルメットに貼り付けて下さい。
※面ファスナー貼付前に必ず貼付箇所の脱脂を行って下さい。

SYGN HOUSE

SHOEI PREMIUM HELMETS

SHOEI X-Fourteen

②スピーカーの取付



チークパッドを取り外します。
※左側のみ

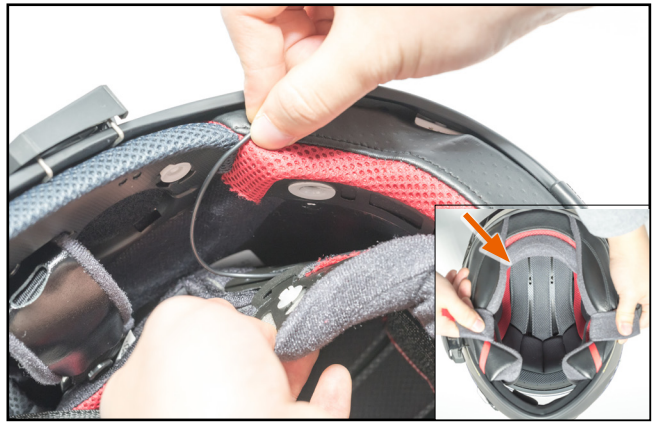
左右の耳部分の窪みにスピーカー用ベルクロテープを貼り付け、右側スピーカーを取り付けます。
※窪みに合わせてスピーカーを取り付けた場合、実際の耳穴の位置からずれてしまう可能性があります。必ず微調整を行って下さい。

＜重　要＞

スピーカー位置の微調整をします。
耳とスピーカーの間に隙間ができる場合、必ずスピーカー調整スポンジで調整してください。
※チンストラップ側のＶ字ラインに寄せるのがコツです。

ヘルメット後方右側のスナップを外し、配線をスナップの内側に通します。

内装後ろ側に配線を通します。



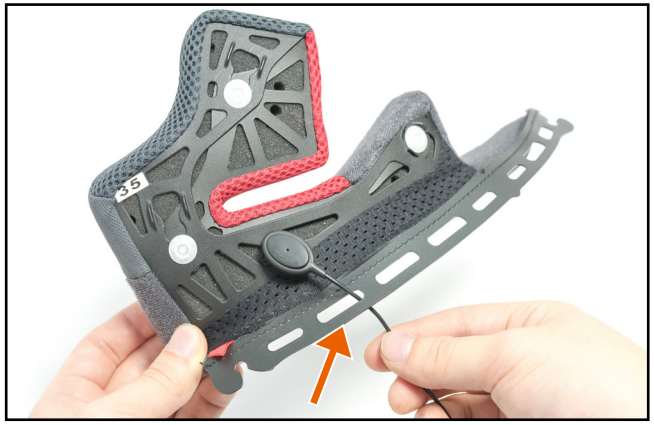
左側も同様に配線を通します。
通し終わったらスナップを元に戻してください。

SYGN HOUSE

SHOEI X-Fourteen

③マイク取付

マイクを取り付ける位置にマイクスポンジを貼ります。



チークパッド下側の隙間にマイクを通します。
※内装の外側へ配線を取り回す方法も可能です。
（収納が難しくなりますが、配線の負担が軽減されます。）

スピーカーの配線を仮止めしておきます。
スピーカーハーネス用固定クリップを使用するとより綺麗に配線を取り回すことができます。

左側スピーカーを取り付けた後、左側チークパッドを取り付けます。
余った配線はチークパッド内側に収めます。

SHOEI X-Fourteen

本体を取り付けます。

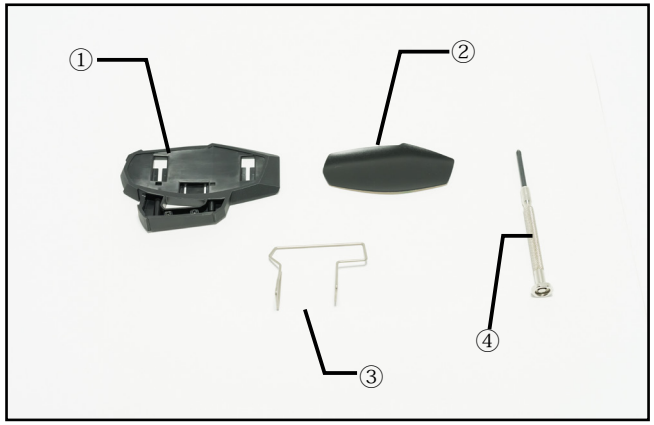
下から見た図

以上で取り付け完了です。

※必ず『E.Q.R.S』(赤いリボン)の機能が損なわれていないことを確認して下さい。

配線は内装の内側にあるため、目立ちません。

ベースプレートの組立①



用意するもの

名称	数量
①ベースプレート本体	1
②保護ラバー	1
③ワイヤークリップ	1
④プラスの精密ドライバー (#1)	1

保護ラバーを貼り付ける前に、貼付箇所を脱脂します。

保護ラバーを貼付部の角に合わせながら貼り付けます。

全体に浮き等がないようにしっかりと貼り付けます。

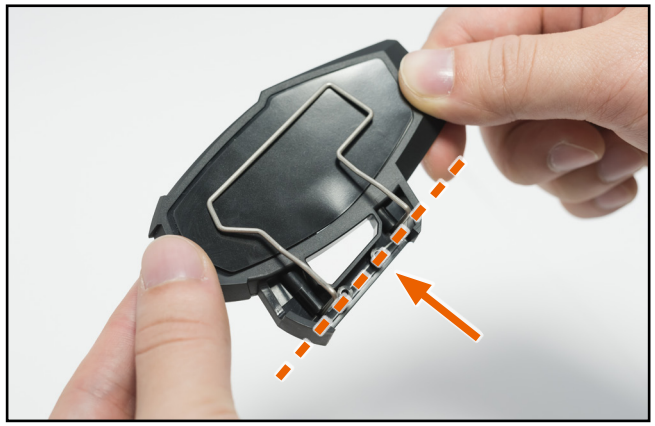
SYGN HOUSE

ベースプレートの組立②

ドライバーを使用してワイヤークリップホルダーとプレートを固定しているネジを２箇所外します。

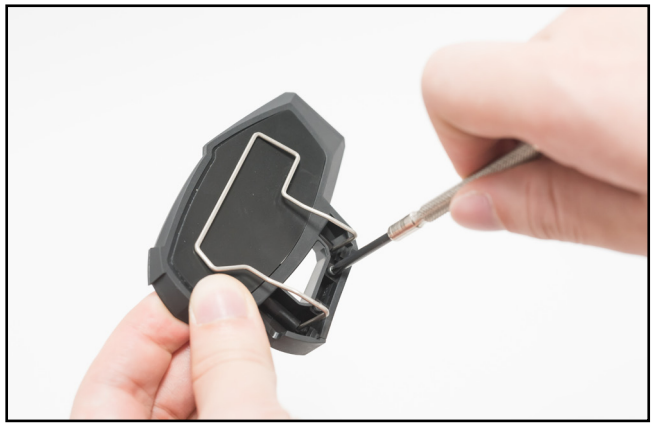
ワイヤークリップホルダーを取り外します。

２箇所の穴へ、矢印方向にワイヤークリップを差し込みます



ワイヤークリップは上図のように壁に当たるまでしっかりと押し込みます。

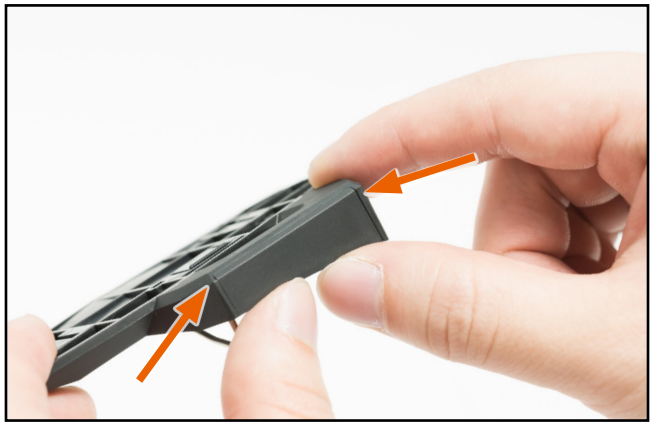
ワイヤークリップホルダーをガイドに沿って取り付けます。



ドライバーを使用してプレートとワイヤークリップホルダーを固定します。

SYGN HOUSE

ベースプレートの組立③



ネジを締め終わったら必ずプレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がないことを確認して下さい。

＜注　意＞

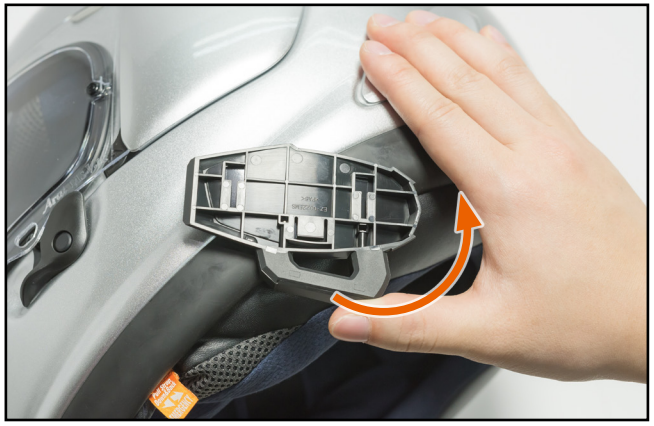
プレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がある状態でヘルメットに取り付けご使用されますと、ベースプレートが破損し、最悪の場合、本体が脱落する危険が御座います。

完成。

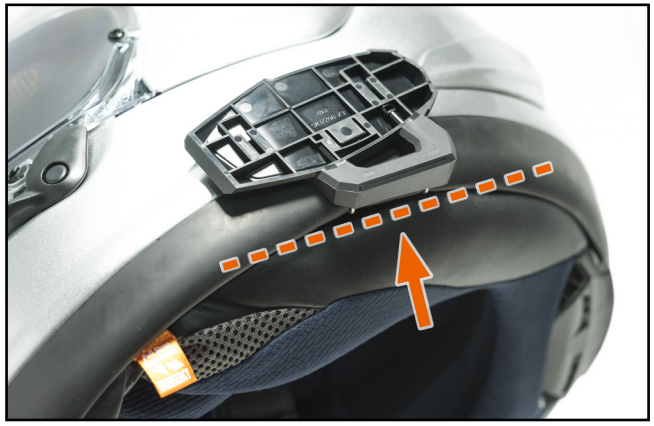
ベースプレートの取付手順

ベースプレート先端をヘルメットの縁に押し付けながら矢印方向へ押し込みます。

≪ご注意下さい≫
ワイヤークリップ部分を大きく広げてのお取付けは必要以上の負荷が掛かり、ベースプレートの破損原因となります。



矢印の方向に回しながら押し込みます。



縁にしっかりと当たるまで押し込み完了です。

SYGN HOUSE